

監査業務の拡充については、監査委員等の増員、あるいは外部監査の導入が考えられるが、その際は、都市の規模や財政上の負担を考慮する必要があり、これらの増加は当市では困難と考える。

従って、現体制の中で事務の見直しや工夫等を行い監査の充実を図ってまいりたい。

ちなみに平成十八年は、財政援助団体等の監査や、従来三年に一回であった市役所各課の定期監査を、二年に一回とする監査実施時期の短縮を行った。

その他の質疑

・ 議案第一号、議案第二十三号

蜂須直巳議員

議案第一号 平成十九年度羽生市一般会計予算

・ 質疑 新年度予算で、企業誘致等プロジェクトチームの設置が提案されている。川崎産業団地がほぼ埋まった状態で、受け入れをするままとした土地も現状では思い当たらないが、これは具体的に、どのような目的を持つものか。

・ 答弁 (企画財政部長)

平成十七年からの県の企業誘致大作戦に呼応して、自治体では専任組織を設置し百八十件を超える企業誘致が実現している。

当市としても、新たな企業誘致による地域活力の向上を図るため、特に民間企業のスピード感に対応する必要からこれを所管する部署を設置するものである。

組織としては、平成十九年四月一日より企画財政部内に専任職員を配置したい。そしてこの組織が担当する業務は、大沼工業団地西側の都市計画法第三十四条八の四に指定されている北袋地区への企業誘致、基本構想の土地利用計画に位置付けられている羽生インターチェンジ南の企業誘致、そして羽生総合病院の移転問題等を考えている。

その他の質疑

・ 議案第九号

小野幸夫議員

議案第二号 平成十九年度羽生市国民健康保険特別会計予算

予算

・ 質疑 国民健康保険税の滞納状況と徴収率向上対策及び未納者に対するペナルティーについて近隣市と比較した状況を伺いたい。

・ 答弁 (市民福祉部長) 平成十八年度の滞納繰越額六億四千四百七十四万円は、全庁的な収税対策が功を奏し、五億七千五百万円まで圧縮された。これは、文書催告等の強化、臨宅による直接納税交渉、不動産・預貯金の差押えを集中的に行ったことによる成果である。羽生市の収納率は八十八・二九%で、県下七十市町村中、四十八番目である。近隣との比較においては行田市が五十五位、加須市が五十八位となっている。

国民健康保険税の未納に対するペナルティーについては、住民の健康と暮らしが守られることを基本に、滞納対策との整合性を失わぬよう慎重に対応している。現在、長期滞納者二百八十人に対し、四カ月使用できる短期被保険者証の発行を行っている。そしてこの保険証の更新時に、年三回納税相談を実施している。

その他の質疑

・ 議案第一号

藤倉宗義議員

議案第一号 平成十九年度羽生市一般会計予算

・ 質疑 新年度予算は、新市長の初めての予算編成である。全体的にどういうところに腐心し、そのカラーはどこに表れていると言えるか。

・ 答弁 (市長) 新年度予算は一言でいうなら、人を大切にしよう、ということに重点を置いた予算編成を心がけた。

具体的に展開していく施策としては、少子化対策として、結婚相談員の増員、企業内マリッジサポーターの創設等を行う。家族を持つことは、人生に生きがいと充実感をもたらす。そして子どもがほしくてもなかなかできない方に対しては、不妊治療への助成制度を新設する。また、高齢者・障害者対策として、福祉バスの運行、障害者の居住支援、介護予防生きがい活動支援事業等を行う。さらに、市民が羽生から離れることなく、郷土愛を持ち

続けられるよう働く場の確保も図っていく。このため、ハローワークの相談室の羽生開設を進めるとともに、新たな雇用を生むための企業誘致のプロジェクトチームを常設する予定である。

戸田競艇場

県内十六市で構成する都市競艇組合の収益金の一部は、毎年各市に交付され、市民の皆様の暮らしに役立っています。昨年は五千万円の交付金がありました。

◆開催日◆

日	月	火	水	木	金	土
					6月1日	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
第25回 関東競艇						
17	18	19	20	21	22	23
専門紙記者クラブ杯						
24	25	26	27	28	29	30
SG 第17回 グランドチャンピオン決定戦(～1日)						